

教育学研究科の改組について

和歌山大学では平成28年4月に、下記のとおり大学院教育学研究科の改組を予定しています。

1. 改組の趣旨・必要性

本学教育学部は和歌山師範学校（男子部・女子部）、和歌山青年師範学校から今日に至るまで、教員養成において長い歴史と伝統をもち、和歌山県をはじめ広く卒業生を学校現場に輩出してきました。大学院教育学研究科では、そうした学部の基盤の上に立ち、各教科科目あるいは各分野において、専門性を高めることを主眼として教育を行い、成果を上げてきました。しかしながら、今日の急激に変化する社会や多様化する課題に応じた教育実践を行うためには、より高度な資質能力と改革に取り組む先進性・創造性を持つ「学び続ける教員」が必要とされています。

そこで大学院教育学研究科では、地域の学校現場との密接な関係のなかで高度な実践力の修得を図ることができる、教師がそのキャリア全体を通して、大学と学校現場を常に往還し、学び続けることができる大学院へと改革を進めることにしました。

2. 教育課程の概要

教育学研究科に、従来の修士課程に加え、新しく専門職学位課程（教職大学院）を設置する予定です。

従来の修士課程は、2専攻を1専攻3コース（学校教育専攻：教育科学コース，特別支援教育コース，教科教育コース）にスリム化します。このことによって、これまでの修士課程の成果を生かしつつ、新しいカリキュラムに柔軟に対応することができるようになります。また、実践力の教科に向けた新しい必修科目を設置し、学校現場との結びつきを深めます。

専門職学位課程（教職大学院）の（教職開発専攻）は、学部からの進学者を対象とした授業実践力向上コースと、現職教員を対象とした学校改善マネジメントコースの2コースになります。

3. 改組計画

改組前（平成27年度）		改組後（平成28年度）	
修士課程（2専攻）	定員	修士課程（1専攻）	定員
学校教育専攻	45	学校教育専攻 教育科学コース 特別支援教育コース 教科教育コース	30
教科教育専攻		専門職学位課程（教職大学院）（1専攻）	定員
		教職開発専攻 学校改善マネジメントコース 授業実践力向上コース	15

目 次

教育学研究科（修士課程）の教育目的とアドミッション・ポリシー	1
--------------------------------	---

平成28年度和歌山大学大学院教育学研究科（修士課程）学生募集要項（第二次募集）

1 募集人員	2
2 出願資格	3
3 出願手続	4
・コンビニエンスストアでの検定料払込方法	7
4 出願にあたっての注意事項	8
5 障害を有する者の事前相談	8
6 選抜方法等	8
7 現教職員等・社会人に対する代替措置の論文題目	12
8 合格者の発表	13
9 入学手続	13
10 入学料及び授業料	13
11 入試情報の開示	13
12 募集要項の請求方法	14
13 個人情報の取扱いについて	14

教育学研究科（修士課程）案内

1 学校教育専攻 コース・領域の教育・研究の概要	15
2 履修方法	17
3 教育職員免許状取得プログラム	18
4 現職教員等の修学に関する特例措置	18
5 長期履修学生制度	19
6 修士論文及び学位	19
7 教育職員免許状	20
8 開設（予定）授業科目 [参考資料]	21

学生生活の案内	25
---------	----

出願書類等

①入学志願票	⑥受験票・写真票	
②志願理由調書	⑦あて名票	
③受験承諾書	⑧「受験票在中」封筒	
④振込依頼書	⑨「出願書類在中」封筒	
⑤納入確認票	⑩「出願書類受付通知」はがき	各1部

出願資格審査書類等

①出願資格審査申請書（第二次募集）	
②研究従事内容等証明書	
③「出願資格審査結果在中」封筒	各1部

教育学研究科（修士課程）の教育目的とアドミッション・ポリシー

修士課程学校教育専攻の教育目的

修士課程学校教育専攻は、深い人間理解と人間尊重を基本理念とし、学術文化の高度な研究能力および教育者としての高い実践力・指導力を備えた高度専門職業人の養成を目的とする。

教育科学コース

(1) 教育目的

教育学・心理学に関する理論と方法について、体系的な教育・研究を行い、学校教育全般についての理論的・実践的研究を通じて高度の専門性を持った人材を養成する。

心身の発達に関する理解と支援、発達支援課題の分析、発達支援に関する指導法や教育臨床の実践研究を通じて地域の中核となりうる人材の養成を目指す。

(2) アドミッション・ポリシー

- 学校教育に関する高度な実践的研究に情熱を有する人
- 発達支援に関する高度な実践的研究に情熱を有する人
- 教員としてより充実した教育研究活動を目指す人

特別支援教育コース

(1) 教育目的

発達に障害や困難のある児童生徒など、特別な教育ニーズを有する子どもの心理や発達の特性を正しく理解し、適切に対応できるように、教育学、心理学、臨床学、福祉学、医学などの専門的知識を身につけ、実践的技能を高め、地域の中核となりうる人材の養成を目指す。

(2) アドミッション・ポリシー

- 高度な実践的研究能力の習得を目指す人
- 障害などによる多様な教育ニーズに応える実践的研究に情熱をもつ人
- 教員としてより充実した教育研究活動を目指す人

教科教育コース

(1) 教育目的

初等・中等教育における各教科教育の高度な専門的知識や理解を深めるとともに教員としての資質能力向上を目的とした教育実践研究者を養成する。

(2) アドミッション・ポリシー

- 各教科の基盤となる専門分野の知識・技術・技能に関する研究に情熱を有する人
- 教科教育法に関する研究に情熱を有する人
- 教員としてより充実した教育研究活動を目指す人

平成28年度和歌山大学大学院教育学研究科（修士課程） 学生募集要項（第二次募集）

1 募集人員

専攻	コース	領 域	分 野	募集人員	備 考
学 校 教 育	教育科学	教育学	教育史・教育思想史 教育制度論 教育社会学 教育内容・方法論 道德教育・同和教育 職業・キャリア教育 社会教育	(10人程度)	募集人員について 左記募集人員には、 現職教員等（学校教育 法第1条に規定する学 校において、3年以上 の教職経験を有し、任 命権者から受験の許可 を得た教員。以下同 じ）及び外国人留学生 を含む。
		心理学	教育心理学 発達心理学 教育臨床心理学		
	特別支援教育	特別支援教育	障害児教育学 障害児心理学 障害児臨床学 障害児福祉学		
	教科教育	国語教育	国語科教育学 国語文 国文学		
		社会科教育	社会科教育史 社会科本界史 社会科理治学 社会科哲学		
		数学教育	※ 数学科教育学 代数学 幾何学 解析・応用解析学		
		科学教育	理科教育学 物理 化学 生物 地学 地学技術		
		音楽教育	音楽科教育学 音楽 音楽		
		美術教育	美術科教育学 美術 彫刻 工芸 デザイン 美術理論・美術史		
		保健体育	保健体育科教育学 体育学 運動学 学校保健学		
		家政教育	※ 家庭科教育学 ※ 食被服居学 ※ 住保育学 ※ 家政一般(家族関係)学		
		英語教育	英語科教育学 英米語文 英文学		

〔注〕※の付している分野を希望する場合は、必ず出願前に電話で問い合わせてください。

担当係 教育学部教務係 (073)457-7219(直通)

2 出願資格

- ① 国内の大学（学校教育法第83条第1項に定められた大学）を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに学位取得見込みの者（注1参照）
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限り、）を有するものとして当該外国の学校制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り、）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号：注2参照）
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに22歳に達する者（注3参照）
[短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等]
- ⑨ その他本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

上記の出願資格に関し質問等がある場合は、教育学部教務係まで事前に問い合わせてください。

（注1）学位取得見込者

「修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科及び高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を行ったものを修了する見込みの者で、当該修了見込み年度内に学士の学位の授与を受けようとする者」

（注2）昭和28年2月7日文部省告示第5号（抄）

教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で平成28年3月31日までに22歳に達する者

（注3）出願資格事前審査について

出願資格⑧による志願者は、出願資格の可否の事前審査を行いますので、次頁ア～エを確認の上、事前審査申請書類を提出先に持参してください。

ア．事前審査を受けるための申請期間

平成27年12月9日（水）～平成27年12月11日（金）[午後4時30分まで]

イ．事前審査申請書類の提出先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学教育学部教務係

TEL (073) 457-7219

ウ．事前審査申請提出書類

- ・ 出願資格審査申請書（本学所定の用紙 [様式1]）
 - ・ 最終学歴の卒業（修了）証明書
 - ・ 最終学歴の成績証明書
 - ・ 最終学歴の各授業科目の授業時間数及び単位を証明する書類（外国人留学生のみ）
 - ・ 在職（在学）証明書（該当者のみ）
 - ・ 研究従事内容等証明書（本学所定の用紙で該当者のみ [様式2]）
 - ・ 返信用封筒 [事前審査の結果通知用一定形 [長形3号] の封筒に362円分の切手を貼り、出願者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。]（本学所定の封筒）
- ※ 証明書等に記載されている氏名が現在の氏名と異なる者は、戸籍抄本を提出すること。

エ．事前審査結果の通知

平成27年12月25日（金）までに郵送により通知します。

3 出願手続

① 出願期間 平成28年1月19日（火）～1月21日（木）必着

- ・ 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。
- ・ 郵送の場合は、所定の封筒を用い「書留・速達」で出願期間内に必着するよう送付してください。出願期間を過ぎて到着したものは受理しません。

② 出願書類等提出先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 和歌山大学教育学部教務係

③ 出願書類等

書類等の名称	提出該当者	摘 要
入学志願票	全 員	本学所定の用紙に、必要事項を記入したもの。
志願理由調書	全 員	本学所定の用紙による。なお、提出された調書に基づいて口述試験を行う。
受験承諾書	大学院在学者	現に他の大学院に在学中の者は、学長または研究科長の受験承諾書（本学所定の用紙）を提出すること。
	在 職 者	現に学校、官公庁または会社等に在職している者で現職のまま入学しようとする者は、所属長の受験承諾書（本学所定の用紙）を提出すること。公立の小・中学校教員等にあつては、都道府県教育委員会の承認を得た市町村教育委員会の承諾書を提出すること。
受験票・写真票	全 員	本学所定の用紙に、必要事項を記入したもの。 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身（4cm×3cm）のものを貼付すること。
成績証明書	全 員	出身大学等が作成し、厳封したもの。
指導教員等の推薦状	任意提出書類	指導教員等が作成し、厳封したもの。
卒業または修了(見込)証明書	全 員	出身大学等の学長または学部長等が作成したもの。
入学検定料	全 員	30,000円（注）納付された検定料は、返還できません。 以下の納入方法のうち、いずれかの方法で納入してください。
		金融機関（ゆうちょ銀行を除く）からお振込 本学所定の用紙「振込依頼書」により金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の窓口で振込により納入し、受領した「振込金受付証明書（C票）」（※取扱金融機関の収納印のないものは無効ですので必ず確認すること）を「納入確認票」に貼り付けて提出すること。 コンビニエンスストア（日本国内に限る）からお支払い 「セブンイレブン」、「サークルK・サンクス」、「ローソン」、「ミニストップ」、「ファミリーマート」のいずれかのコンビニエンスストアから下記払込期間中にお支払いください。 （上記以外のコンビニエンスストアからは払込みできません。7頁を必ず参照の上、支払手続きを行ってください。） <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <td>払込期間</td> <td>平成27年12月1日（火）午前0時～ 平成28年1月21日（木）午後3時</td> </tr> </table> 「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取って「納入確認票」に貼り付けて提出してください。
払込期間	平成27年12月1日（火）午前0時～ 平成28年1月21日（木）午後3時	
納入確認票	全 員	本学所定の用紙。入学検定料の「振込金受付証明書（C票）」または「収納証明書」を貼り付けること。
あて名票	全 員	本学所定の用紙に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。
受験票等返送用封筒	全 員	本学所定の封筒に362円分の切手を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。
論文	現職教員等・社会人	試験科目の代替措置を希望する者は、受験する科目の一部を「論文」で代替することができる。（11頁の4. 及び12頁参照）。既に刊行された研究論文等があれば添付してもよい。
教育職員免許状授与証明書または教育職員免許状の写	出願資格⑦に該当する者	免許状を授与された都道府県教育委員会が作成したもの。免許状の写の場合は、原本と相違ない旨の所属長の証明を受けたもの、または原本を持参すること。
出願書類受付通知はがき	郵 送	本学所定のはがき。郵便番号、住所、氏名、志望コース・領域・分野名を記入し、52円分の切手を貼り、出願書類とともに提出すること。52円分の切手の無いものは送付できません。 ※出願書類を直接持参する場合は不要。
戸籍抄本	右記に該当する者	成績証明書、卒業または修了(見込)証明書、教育職員免許状の写等に記載されている氏名が現在の氏名と異なる者は、戸籍抄本を提出すること。
その他本学が必要とする書類	本学より指示ある者	個別事項で本学が必要と判断したもの。

〔出願書類等の注意点〕

1. いったん受理した出願書類等は、いかなる場合にも返付しません。
2. 外国人留学生は、出願書類等のほかに、次のものを提出してください。
 - (1) 「在留カード」の交付を受けている者は、カードの表面と裏面のコピー
「在留カード」の交付を受けていない者は、パスポートのコピー(国籍、氏名等が記載されたページと在留資格・在留期間等が記載されたページ)
※ いずれも必要に応じ、原本の提示を求める場合があります。
 - (2) 提出書類のうち、外国語で書かれた証明書、文書等がある場合には、その日本語訳
3. 出願資格②による学位取得見込者は、出願書類等のほかに、次のものを提出してください。
 - (1) 在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校専攻科の修了見込証明書
 - (2) 学士の学位の授与を申請する予定である旨の在籍する短期大学長または高等専門学校長の証明書
4. 出願時に海外在住の方は、入学検定料の納入方法等について、別途連絡がありますので、必ず事前に教育学部教務係までご連絡ください。(＋81－73－457－7219)
5. 出願時に海外在住の方への返信は航空便(エアメール)を利用します。返信用切手の代わりに各重量料金相当の国際返信切手券を貼付してください。

和歌山大学大学院 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

24時間
支払可能

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HP
からも
アクセス
できます！



<https://e-shiharai.net/>



- ※確定画面に表示される番号を②の枠内にメモしてください。
- ※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
- 支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

2 コンビニでお支払い

- 検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

 【払込票番号 (13ケタ)】 [][] - [][][][] - [][][][][] ●レジにて 「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。 マルチコピー機は使用しません	 【オンライン決済番号 (11ケタ)】 [][][][][][][][][][][] Kstation へ 各種支払い 11ケタの番号をお持ちの方 オンライン決済番号を入力してお支払い 【オンライン決済番号】を入力	 【お客様番号 (11ケタ)】 [][][][][][][][][][][] 【確認番号 (4ケタ)】 [][][][] Loppi へ 各種サービスメニュー 各種代金・インターネット受付 (紫のボタン) 各種代金お支払い マルチペイメントサービス 【お客様番号】【確認番号】を入力	 【お客様番号 (11ケタ)】 [][][][][][][][][][][] 【確認番号 (4ケタ)】 [][][][] Famiポート へ 代金支払い 各種代金お支払い 番号入力画面に進む 【お客様番号】【確認番号】を入力
お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。	店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。 お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。	お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。	お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。

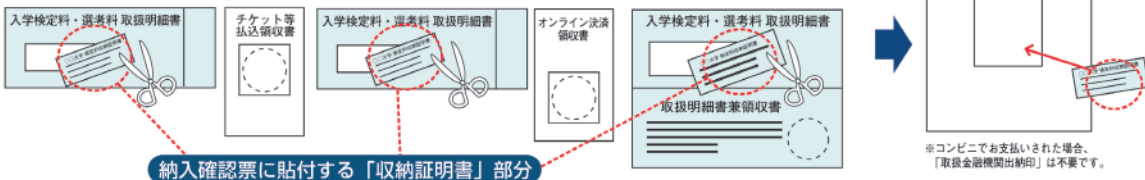
3 出願

「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、納入確認票の所定欄に貼り出願。

- セブン-イレブン
「入学検定料・選考料取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。

- サークルK・サンクス
「入学検定料・選考料取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「オンライン決済領収書」は保管。

- ローソン ●ミニストップ ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



⚠ 注意事項

- 出願期間を募集要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は15:00まで、コンビニ店頭端末機の場合は15:30までです。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

4 出願にあたっての注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ・ 出願後は、記載事項の変更は認めません。
- ・ 出願書類受理後は、入学検定料及び出願書類は返還しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学を取り消すことがあります。

5 障害を有する者の事前相談

障害を有する者で、受験及び修学上、特別な配慮を必要とする場合は、出願開始の1か月前までに教育学部教務係に相談してください。

6 選抜方法等

① 選抜方法

入学者の選抜は、試験並びに出身大学長または学部長等が作成した成績証明書及び志望理由調書等の出願書類により総合的に行います。

1科目でも受験しない場合は、合格判定の対象としません。

② 試験日

平成28年2月13日（土）

③ 試験会場

和歌山大学教育学部

④ 集合時間・場所

集合時間 午前8時30分（外国語科目を受験しない者は、午前9時50分）

集合場所 教育学部講義棟 L-101教室

⑤ 試験時間割

試験科目 専攻	筆記試験・実技試験			口述試験
	外国語科目	専門科目 I	専門科目 II	
学 校 教 育	9 : 00	10 : 20	11 : 40	14 : 00
	}	}	}	}
	10 : 00	11 : 20	12 : 40	

⑥ 配点

試験科目	筆記試験・実技試験			口述試験	合計
	外国語科目	専門科目 I	専門科目 II		
配 点	100	100	100	100	400

⑦ 試験科目

専攻 コース	試験科目 領域	筆記試験・実技試験			論文による 試験科目の 代替措置	口述 試験	
		外国語科目	専門科目 I	専門科目 II			
学 校 教 育	教育学	◎英 語	◎教育学 I	◎教育学 II	外国語科目 又は専門科 目 I に代替 できる。	◎	
	心理学	◎英 語	◎心理学 I	◎心理学 II	外国語科目 又は専門科 目 I に代替 できる。	◎	
	特別支援 教育	◎英 語	◎特別支援教育 基礎	◎特別支援教育専門	外国語科目 又は専門科 目 I に代替 できる。	◎	
	国語教育	◎英 語	◎国語科教育 I	◎国語科教育 II ◎国語学 ◎国文学	から 1 科目 選択	外国語科目 に代替でき る。	◎
	社会科教育	○英 語 } ○独 語 } ○仏 語 } ○中国語 } から 1 科目 選択	◎社会科教育 I	◎社会科教育 II ◎日本史 ◎世界史 ◎地理学 ◎政治学 ◎社会学 ◎哲学	から 1 科目 選択	外国語科目 に代替でき る。	◎
	数学教育	◎英 語	◎数学科教育 I	◎数学科教育 II ◎代数学 ◎幾何学 ◎解析学 ◎確率・統計	から 1 科目 選択	外国語科目 又は専門科 目 II に代替 できる。	◎
	科学教育	◎英 語	◎科学教育	◎理科教育 ◎物理学 ◎化学 ◎生物学 ◎地学 ◎電気・電子	から 1 科目 選択	専門科目 I 又は専門科 目 II に代替 できる。	◎
	音楽教育	◎英 語	◎音楽科教育 I	◎音楽科教育 II ◎器楽 ◎声楽	から 1 科目 選択	外国語科目 又は専門科 目 I に代替 できる。	◎
	美術教育	◎英 語	◎美術科教育 I	◎美術科教育 II ◎絵画 ◎彫刻 ◎デザイン ◎工芸 ◎美術理論・美術史	から 1 科目 選択	外国語科目 に代替でき る。	◎
	保健体育	◎英 語	◎保健体育科教 育 I	◎保健体育科教育 II ◎体育学 ◎運動学 ◎学校保健	から 1 科目 選択	外国語科目、 専門科目 I 又は専門科目 II のいずれか 1 科目に代替で きる。	◎
	家政教育	◎英 語	◎家庭科教育 I	◎家庭科教育 II ◎被服学 ◎住居学	から 1 科目 選択	外国語科目 に代替でき る。	◎
	英語教育	○英 語 } ○独 語 } から 1 科目 選択	◎英語科教育 I	◎英語科教育 II ◎英語学 ◎英米文学	から 1 科目 選択	専門科目 I 又は専門科 目 II に代替 できる。	◎

〔注〕 1. ◎は必修科目、○は選択科目を示す。

2. 外国語科目

試験は次のとおりとする。

(1) 辞書（電子辞書等は除く）の持ち込みを認める。ただし、英語教育領域志望で英語を選択した場合、辞書の持ち込みは認めない。

(2) 外国人留学生の外国語科目は「日本語」とする。

辞書（電子辞書等は除く）の持ち込みを認める。ただし、国語教育領域または社会科教育領域志望の外国人留学生については、辞書の持ち込みは認めない。また、英語教育領域志望の外国人留学生については、原則として「英語、独語」から1科目選択（独語は辞書の持ち込み可）とする。

3. 専門科目

「専門科目Ⅰ」は基礎的内容とし、「専門科目Ⅱ」は専門的内容を中心とする。

(1) 教育学領域を専攻志望する者は、受験のために学習する際に以下に例示するような辞書・書籍を参照することが有益である。

平川春好・寺崎昌男編集代表『新版 教育小事典』（第3版）学陽書房、2011年。

江川玟成、高橋勝他編『最新教育キーワード [第13版]』時事通信社、2009年。

山住正己著『日本教育小史 一近・現代一』岩波新書、1987年。

今井康雄編『教育思想史』有斐閣アルマ、2009年。

小澤周三、影山昇、小澤滋子、今井重孝著『教育思想史』有斐閣Sシリーズ、1993年。

土屋基規編『現代教育制度論』ミネルヴァ書房、2011年。

広田照幸著『教育学(ヒューマニティーズ)』岩波書店、2009年。

中野光・平原春好著『教育学 [補訂版]』有斐閣Sシリーズ、2004年。

佐藤学著『教育方法学』岩波書店、1996年。

田中耕治著『教育評価』岩波書店、2008年。

白井嘉一著『教育実践学と教育方法論』日本標準、2010年。

田中孝彦著『子ども理解 臨床教育学の試み』岩波書店、2009年

船越勝他編『共同グループを育てる 今こそ、集団づくり』クリエイツかもがわ、2002年。

(2) 数学教育領域の「専門科目Ⅱ」については、専攻志望する分野と関連した科目を選択することが望ましい。ただし、「専門科目Ⅱ」を論文で代替する場合はこの限りではない。

(3) 音楽教育領域の専門科目Ⅱの検査内容は、次のとおりである。

・「音楽科教育Ⅱ」……………小論文

・「器楽」……………任意の一曲を暗譜で演奏する。

・「声楽」……………任意の歌曲とアリア、各一曲を暗譜で歌う。

(注1) 伴奏者は受験者が各自同伴のこと。

(注2) ただし、古典イタリア歌曲集に含まれるアリアは、歌曲扱いとする。

(注3) 「器楽」の場合は、楽器名並びに作曲者名、作品名(作品番号がある場合は作品番号も)を付記すること。

(注4) 「声楽」の場合は、作曲者名、作品名(作品番号がある場合は作品番号も)を付記すること。

(4) 美術教育領域の専門科目Ⅱのうち「絵画」「彫刻」「デザイン」「工芸」については、作品及び作品アルバム提出で代替する。

ア 最近の作品……………2点以上を持参すること。

イ 作品アルバム……………1組を持参すること。2 L判以上のカラー写真
で作り、作品名、材質、大きさ、制作年のデータを付ける。

ウ 作品及び作品アルバムは自作であることの制作証明書（第三者による証明書。
様式任意）を添付する。

4. 論文による試験の代替措置

- (1) 3年以上の教職経験を有する現職教員等には、試験科目の一部を「論文」で代替することを認める。
- (2) 大学卒業後3年以上経過した者、または出願資格を得てから3年以上経過した者を社会人とし、試験科目の一部を「論文」で代替することを認める。
- (3) 代替措置に係る「論文題目」は12頁を参照すること。

5. 口述試験

口述試験は、志願者があらかじめ提出した「志望理由調書」等に基づいて行う。

7 現職教員等・社会人に対する代替措置の論文題目

〔平成28年度〕

和歌山大学大学院教育学研究科（修士課程）

専攻	コース	領域	論文題目	備考
学 校 教 育	教育科学	教育学	以下の課題図書の中から2冊以上を読み、本の内容を引用・活用した上で、自らの教育経験（実践経験・教育を受けた経験のどちらでもよい）とも関連させながら、これからの学校のあり方について論じなさい。（選択した書名は明記のこと） 〈課題図書〉 ・汐見稔幸著『親子ストレス』平凡社新書 ・広田照幸著『教育(思考のフロンティア)』岩波書店 ・志水宏吉著『学力を育てる』岩波新書 ・藤田英典編『誰のための「教育再生」か』岩波新書 ・宮下与兵衛他著『参加と共同の学校づくり』草土文化 ・阿部彩著『子どもの貧困ー日本の不公平を考える』岩波新書 ・佐藤学著『学校の挑戦 学びの共同体を創る』小学館	4,000字程度
		心理学	学校教育と心理学とのかかわりに関し、あなたが取り組んできた課題について論じなさい。	4,000字程度
	特別支援教育	現在までの教育実践から、特別支援教育における課題を整理し論じなさい。また、それらの課題との関連において、大学院での研究計画について述べなさい。	4,000字程度	
	教科教育	国語教育	あなたが最も関心を抱いている、国語学・国文学・国語教育学上の課題をひとつ挙げ、それについて論じなさい。また、それと大学院で進めようとする研究との関係についても述べなさい。	4,000字程度
		社会科教育	社会科教育における諸問題について、あなたの大学院での研究テーマと関連させつつ論じなさい。	4,000字程度
		数学教育	算数・数学教育上の課題を挙げ、その課題への取り組みについて今までのあなたの教育経験（実践経験・教育を受けた経験のどちらでもよい）を踏まえて論じなさい。	A4で2～3枚、横書き、様式自由
		科学教育	あなたのこれまでの理科教育または技術教育の経験（実践経験・教育を受けた経験のどちらでもよい）の中で特に学問的に理解を深める必要性を感じたことについて、大学院での研究目的と関連させて論じなさい。	4,000字程度
		音楽教育	(1) 現在の音楽教育の課題と展望について、あなたが問題意識や関心を持っている内容をあげて論じなさい。 (2) 大学院での研究テーマとの関連についても述べなさい。	4,000字程度 (図表、譜例等を含む。)
		美術教育	現在の美術教育の課題をひとつ挙げ、あなたの経験を踏まえて論じなさい。また、その課題と大学院で希望する研究テーマとの関連を併せて示しなさい。	4,000字程度
		保健体育	(1) 現在の保健体育教育の課題と展望について、あなたのこれまでの教育経験・指導経験を踏まえて論じなさい。 (2) 大学院での研究テーマとの関連についても述べなさい。	4,000字程度
家政教育		家庭科教育における課題と問題点について、大学院での研究テーマ・計画と関連させつつ論じなさい。	4,000字程度	
英語教育	これまでの英語教育経験において、あなたが特に留意してきたことや、課題と思われることについて述べなさい。また、それらと大学院における研究テーマとの関係について論じなさい。	論述は英語または日本語とし、英語の場合A4判5枚（約1,500語）程度、日本語の場合4,000字程度とする。		

- 〔注〕 1. 論文は出願書類と併せて出願期間内に和歌山大学教育学部教務係まで提出してください。
2. 提出論文には、氏名、志望の領域名を明記してください。
3. 既に刊行された研究論文等があれば添付可能です。

8 合格者の発表

- ① 平成28年2月19日（金）午前10時（予定）教育学部掲示板に発表し、合格者には、合格通知書を送付します。
- ② 教育学部ウェブサイト上に合格者の受験番号を掲載します。
URL：<http://www.edu.wakayama-u.ac.jp/>
掲載日時：合格発表日の正午から午後5時まで。
これは、本学部が情報提供の一環として行うもので、公式の合格発表は上記①によります。また、回線の状態により応答が遅くなったり、閲覧が出来なくなることも予想されますので、ご注意ください。
- ③ 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

9 入学手続

合格者には、入学に際し必要な書類を送付するとともに、入学手続に必要な事項を通知します。

10 入学料及び授業料

- ① 入学料 282,000円

〔注〕入学料は、本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。

これについては、合格者に送付する入学手続案内で納入方法の詳細をお知らせします。

- ② 授業料 前期分 267,900円（年額535,800円）

なお、上記記載の金額は平成27年度のもので、平成28年度入学者の納付金額については決定次第、別途お知らせします。

〔注〕(1) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(2) 入学手続案内で、納入方法の詳細をお知らせします。

(3) 入学料・授業料についてはその理由により、免除を認められることがあります。

11 入試情報の開示

平成28年度大学院教育学研究科（修士課程）入学者選抜（第二次募集）における入試情報を下記のとおり開示します。

開示内容

- ① 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

本学ウェブサイトを開示（ただし、入学者数については次年度確定後）

- ② 試験成績（得点）

(1) 開示方法等

受験者本人からの請求により開示します。

ア．窓口での受付

申請書（本学所定）に記入のうえ、受験票を提示して申し込んでください。

イ．郵送による受付

受験者が遠隔地等の理由による場合は、郵送による請求も可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封のうえ、郵便（特定記録）で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- ・申請書（本学所定様式）
- ・受験票（写）
- ・定形サイズの返信用封筒（書留郵便料として512円分の郵便切手を貼付し、受験者本人あての郵便番号、住所、氏名を明記したもの）

(2) 開示時期

平成28年5月1日～6月30日の期間中の月曜日～水曜日（祝祭日を除く）
9時～17時（郵送必着）

(3) 開示場所

教育学部教務係

③ 試験問題及び正解・解答例

正解・解答例を開示することが適切ではない場合は、出題の意図を開示します。

12 募集要項の請求方法

募集要項の郵送を希望する場合は、下記のとおりです。

- ① 請求の際には、大学宛封筒の表面に必ず「大学院教育学研究科修士課程募集要項請求」と朱書きしてください。
- ② 本人の郵便番号・住所・氏名及び朱書きで「ゆうメール」と明記し、215円分の切手を貼った角形2号（縦・33cm×横・24cm）の返信用封筒を必ず同封してください。

13 個人情報の取扱いについて

出願時のデータや、試験実施結果、入学手続きの状況等の個人データを入試に関する調査・研究のために利用することがありますので、予めご了承ください。

なお、これらの個人データを利用する場合も、個人を特定する内容の資料や個人を特定できる資料を作成することはありません。

受験等に関する問い合わせ先

和歌山大学教育学部教務係

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

電話 (073) 457-7219 (直通)

教育学研究科（修士課程）案内

1 学校教育専攻 コース・領域の教育・研究の概要

① 教育科学コース

(1) 教育学領域

教育学領域では、学校教育はもちろん社会教育・生涯学習も視野に取めながら、今日の子育て・教育がかかえる様々な課題について、教育史学・教育思想・教育制度論・教育社会学・社会教育学など教育諸科学の成果を学びながら、より本質的な理解を得ることができる。同時にそれらの理解を教育方法学ともつなげ、教育の内容・方法についても幅広い知と深い技術を鍛え、理論と実践の統合を図ることができる。

(2) 心理学領域

学校教育及びその基盤を支える地域資源において、教育科学の知見を活かす高度な専門性を有し、こどもとこどもに関わる人を支え育む学校教育・地域づくりの礎となる機能有する人材を育成する。学校教職員および心理関係諸専門職（SC・SSW・児童心理福祉職等）の現職者および志願者を対象に、学校心理学、教育心理学等の最新の学術的見地による高度な研究と実践を行うことができる人材養成を行う。学校心理士・臨床発達心理士等の資格取得を通し、発達支援・教育的援助の確かな実践的力量を身につけることができる。

② 特別支援教育コース

特別支援教育領域

特別支援教育コースは、知的障害児、肢体不自由児、病弱児など従来の障害児教育の対象に加えて、ADHD、LD、自閉症スペクトラム障害など発達障害を有する児童生徒の指導について高い専門性を備えた教員を養成することを目的とする。特別な教育ニーズを有する子どもの心理や発達の特性を正しく理解し、適切に対応できるように、教育学、心理学、臨床学、福祉学、医学などの専門的知識を身につけ、実践的スキルを高めることを目的とする。

③ 教科教育コース

(1) 国語教育領域

国語教育の目的は、児童・生徒の母国語についての知識・能力を豊かにし、また、言語文化についての深い理解力を養うことである。本領域は、この目的を達成し得る優れた教員及び研究者を養成するため、国語学、国文学及び地域の言語文化についての研究を深め、国語科教育についての理論的・実践的研究を進める。

(2) 社会科教育領域

社会科教育の目的は、人権尊重を基本理念として、平和な時代を担う社会人を養成することである。本領域は、その目的を達成し得る優れた資質と高度の教育実践研究能力を持った教員の養成を目指す。具体的には、地理歴史部門に関連する日本史、世

界史、地理学各分野と、公民部門に関連する政治学、社会学、哲学各分野について、それぞれの分野の研究を深めるとともに、近年の日本における著しい国際化についての深い認識と対応力を持つと同時に、地域の社会・文化を理解し、地域振興に貢献することのできる人材を養成するために、社会科教育について理論的・実践的研究を進める。

(3) 数学教育領域

情報化・高度技術化社会の進展にともなって、論理的思考や直観力が今後ますます要求されてくる。本領域は、その必要性を認識しつつ、代数学、幾何学、解析・応用解析学等の分野について研究を深めるとともに、算数・数学科教育について教材開発、授業研究を含め理論的・実践的研究を進める。

(4) 科学教育領域

現在わが国は、高度に発達した科学・技術を基盤に社会を形成している。このような状況下では、高度な科学教育の必要性はますます高まっている。一方、公害、都市化、開発等にもなう自然破壊は著しく、いまや環境の保全は全人類的な課題である。本領域は、これらの課題に対応できる優れた人材を養成すべく、物理学、化学、生物学、地学、技術の各分野の基礎的研究を深め、本学が所在する和歌山県の特長を生かした教材の開発を行い、科学教育の理論的・実践的研究を進める。

(5) 音楽教育領域

初等・中等学校における音楽教育は、児童・生徒の情操を豊かにし、感性を養うために必須のものである。本領域は、器楽及び声楽について、高度の専門的スキルや知識を深めるとともに、芸術教育、情操教育を含めた音楽科教育全般について理論的・実践的研究を進める。

(6) 美術教育領域

初等・中等学校における美術教育は、児童・生徒の美的情操を養い、芸術的スキルを育てるとともに、美術文化についての理解の基礎を培うことを目的としている。本領域は、この目的を達成できる優れた実践研究者を養成するために、絵画、彫刻、工芸、デザイン、美術理論・美術史の各分野について、高度の専門的スキルや知識・理解を深めるとともに、芸術教育、美的情操教育を含めた美術科教育全般について理論的・実践的研究を進める。

(7) 保健体育領域

生涯にわたるスポーツの実践や健康の保持・増進は、幼児から高齢者まで、現代に生きる人間の「文化的生存」にとって必修のものであり、その保障は現代社会に不可欠の社会的課題となっている。学校における体育・健康教育は、このような文化と生活スタイル創造の土台となるスポーツ科学や健康科学の基礎を教えるところである。本領域は、スポーツ・健康科学の最新の研究成果をふまえながら、体育学、運動学、

学校保健の分野で高度な研究を深める。また、保健体育科教育の「目標－内容－方法－評価」のそれぞれについて理論的・実践的研究を進める。

(8) 家政教育領域

人間が生き生きと諸活動に参画していく基盤である家庭生活が、社会環境の著しい変化により、大きく影響を受けてきている。このような状況の中で、生活に関連する諸問題の究明と、それに関わる教育実践力の向上が、強く求められている。本領域は、家庭科教育、食物学、被服学、住居学、保育学、家政一般（家族関係学）の分野で構成し、それぞれの専門分野をふまえて、家庭科教育全般についてより高度な教育方法の研究・教材開発を行い、理論的・実践的研究を進める。

(9) 英語教育領域

国際化が進展するなかで、英語の修得が不可欠であることはいうまでもない。それにともない、英語教員には極めて高度な資質と教育実践能力が要求されている。本領域は、英語科教育、英語学、英米文学について、それぞれの分野の研究を深めるとともに、広い視野に立った国際感覚豊かな人材を養成すべく、ヨーロッパ文学に関する授業を併せて開設し、時代の要請に対応できる英語教育についての、理論的・実践的研究を進める。

2 履修方法

指導教員の指導の下に、下記の履修基準単位表に従い、30単位以上を修得しなければならない。

学校教育専攻履修基準単位表

科目区分	取得単位数
学校教育共通科目	4
実践的科目	4〔注1〕
教科教育に関する科目	4〔注2〕
専門に関する科目	10
自由選択科目	4
課題研究	4
計	30〔注3〕

〔注1〕専修免許状の取得を希望しない学生または特別支援学校教諭の専修免許状のみ取得を希望する学生に限り、「専門に関する科目」で代替できる。ただし、教育職員免許状取得プログラムの学生は代替できないものとする。

〔注2〕教育科学コース・特別支援教育コースについては、所属コースの「専門に関する科目」で代替できる。

〔注3〕履修については指導教員の指導をうけるものとする。

3 教育職員免許状取得プログラム

本プログラムでは、通常の大学院修士課程の履修とともに、科目等履修生として学部の教員養成カリキュラムを履修することにより、教育職員免許状（一種または二種）の所要資格を得ることができる。この場合、科目等履修生にかかる検定料、入学科、授業料は免除される。また、長期履修学生制度を活用することができる。

所要資格を得ることのできる教員免許状は、小学校、中学校（各教科）、高等学校（各教科）、幼稚園および特別支援学校の教員免許状（一種または二種）のいずれかである。

※本プログラムの受講を希望する場合は、以下の日程で申請書類の取り寄せや事前相談（面談）等の手続きが必要です。募集人数等の詳細は教育学部教務係（TEL：073-457-7219）へお問い合わせください。

※和歌山大学教育職員免許状取得コースの履修生についても同様に、本プログラムに申請を要します。

〈申請書取り寄せから受講許可発表までの日程〉

平成28年1月15日（金）まで……………申請書取り寄せ。

（注）事前相談は複数回にわたることがあるため、できる限り12月18日（金）までに済ませてください。履修計画等について受講希望者と大学側で日程調整の上、事前相談を行います。

1月19日（火）～1月21日（木）……大学院教育学研究科修士課程の出願と同時に申請書類一式を提出してください。

2月13日（土）……………大学院教育学研究科修士課程の入学試験のあとに、面接審査を行う場合があります。

2月19日（金）……………大学院教育学研究科修士課程の合格発表と同時に本プログラム受講許可者を発表します。

4 現職教員等の修学に関する特例措置

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨に基づき、現職教員等を受け入れ、再教育の機会を設けることは、本研究科設置の主要目的の一つである。現職教員等の修学を容易ならしめるとともに、大学院としての研究・教育の一定の水準を維持するための制度として、以下の措置を講じる。

① 特例措置適用の認定

学校教育法第1条に規定する学校において3年以上の教職経験を有する者のうち、派遣母体である都道府県教育委員会・学校法人等の意向を勘案し、出願時の申請に基づき研究科委員会において、特例措置の適用を認定する。

② 教育方法

(1) 現職教員のうち、特例措置の適用を認定された者は、修士課程の修業年限の前半1年間は研究科において、研究及び履修に専念し、定められた単位を取得する。

1) この期間における履修単位は、課程修了に必要な30単位のうち、22単位以上とする。

2) これらの単位は、通常の授業時間帯に開講される授業により履修する。

(2) 後半の1年間は、在職校においてその勤務と教育実践研究を並行し、研究科の指定した日に登校し研究指導を受けるとともに定められた科目の履修を行う。

1) この特例による履修単位は、課題研究を含む8単位以内とする。

2) 特例措置の適用を認定された者の2年次における履修は下記の範囲内とする。

区 分	2年次履修可能科目	単 位
特例の授業時間における履修	自由選択科目	4 単 位 以 内
	課 題 研 究	4 単 位
計		8 単 位 以 内

3) 自由選択科目は指導教員の指定したものとする。

4) 特例による授業時間における履修に関しては、指導教員の指導の下に計画し、1年次の終了までに、あらかじめ決定する。

(3) 授業の実施方法

1) 平日においては、通常の授業時間で開設する。

2) 夏季・冬季等の休業期間において、集中講義等により授業を開設する。

5 長期履修学生制度

本研究科修士課程では、平成18年4月から「長期履修学生制度」を導入している。

この制度は、学生が職業を有しているなどの事情により、研究科修士課程の標準修業年限の2年を超えて一定の期間（3年または4年）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することの希望を申し出たときは、審査の上、その計画的な履修を認めることができるものである、なお、教育職員免許状取得プログラムを受講する者もこの制度を活用することができる。

この制度により長期履修学生と認められた場合の授業料は、2年間（標準の修業年限）分の授業料総額を、あらかじめ認められた一定の修業年限で除した額にして、それぞれの年に支払うことになる。

※詳細は、合格発表時に送付する入学手続関係書類をご覧ください。

6 修士論文及び学位

① 修士論文

修士論文は、各領域に関する主題で、教員の専門的資質を高め、学校教育の進展に寄与し得る内容を有する学術論文とする。

② 学位

本研究科修士課程に2年以上在学し、学校教育専攻で定めた授業科目30単位以上を修得、修士論文(特定の課題についての研究の成果を含む。)を提出し、その審査及び最終試験に合格した者には、修士(教育学)の学位を授与する。

ただし、在学期間に関しては、研究科委員会が、特に優れた研究業績を上げたと認めた場合は、1年以上在学すれば足りるものとする。

7 教育職員免許状

小学校、中学校、高等学校、幼稚園及び特別支援学校の1種免許状を有する者は、本研究科修士課程において教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得することにより、所有する1種免許状に対応する専修免許状を取得することができる。

8 開設（予定）授業科目〔参考資料〕

参考に、平成28年度開設（予定）授業科目一覧表を掲載します。

科目区分	授業科目	担当教員（予定）	備 考
共通科目	学校教育総論	越野章史・谷口知美・二宮衆一	
	学校心理学総論	米澤好史・菅千索・則定百合子・武田鉄郎	
実践的科目	教職実践研究A	菊川恵三・江利川春雄・村瀬浩二・岩野清美	
	教職実践研究B	江利川春雄・佐藤史人・丁子かおる・林修	
	教職実践研究C	佐藤史人・林修・菊川恵三・尾上利美	
教育に関する科目	乳幼児造形教育特論	丁子かおる	
	初等国語科教育特論	菊川恵三	
	初等社会科教育特論	岩野清美	
	算数科教育特論	片岡啓	
	初等理科教育特論	石塚互・木村憲喜	
	初等音楽科教育特論	上野智子	
	初等音楽科教材論	菅道子	
	図画工作科教育特論	丁子かおる	
	体育科教育特論	林修	
	体育科教材論	林修	
	初等家庭教育特論	山本奈美	
	中等国語科教育特論	丸山範高	
	中等国語科教材論	菊川恵三	
	中等国語科授業研究	丸山範高	
	中等社会・地歴科教育特論	岩野清美	
	中等社会・公民科教育特論	岩野清美	
	数学科教育特論	片岡啓	
	数学科教材論	片山聡一郎	
	数学科授業研究	片山聡一郎	
	中等理科教育特論	石塚互・木村憲喜	
	中等理科教材論	石塚互・木村憲喜	
	中等理科授業研究	石塚互	
	中等音楽科教育特論	菅道子	
	中等音楽科教材論	上野智子	
	美術科教育特論	永守基樹	
	美術科教材論	永守基樹	
	保健体育科教育特論	村瀬浩二	
	保健体育科教材論	村瀬浩二	
	技術科教育特論	佐藤史人	
	技術科教材論	佐藤史人	
	中等家庭教育特論	赤松純子	
	中等家庭科教材論	赤松純子	
	中等家庭科授業研究	山本奈美	
	英語科教育特論	江利川春雄	
	英語科教材論	尾上利美	
	英語科授業研究	江利川春雄	
専門に関する科目	教育学特論A I	越野章史	
	教育学特論A II	越野章史	
	教育学特論B I	谷口知美	
	教育学特論B II	谷口知美	
	教育学特論C I	二宮衆一	
	教育学特論C II	二宮衆一	
	教育学特論D I	船越勝	
	教育学特論D II	船越勝	
	教育学特別演習A	越野章史	
	教育学特別演習B	谷口知美	
	教育学特別演習C	二宮衆一	
	教育学特別演習D	船越勝	
	教育心理学特論A	菅千索	

科目区分	授業科目	担当教員（予定）	備考	
専門に関する科目	教育科学コース	教育心理学特別演習A	菅千索	
		教育心理学特論B	米澤好史	
		教育心理学特別演習B	米澤好史	
		心理教育的アセスメント研究	菅千索・米澤好史	
		発達心理学特論B	則定百合子	
		学習指導心理学研究	米澤好史	
		教育臨床心理学特論	則定百合子	
		教育臨床心理学特別演習	則定百合子	
		発達支援情報処理研究	菅千索	
		臨床認知心理学特論	米澤好史	
		教育相談研究	則定百合子	
		発達心理学特論A	未定	
		カウンセリング特論	未定	
		発達支援教育心理学特論	未定	
		発達臨床心理特論	未定	
		発達臨床心理特別研究	未定	
	実践教育心理学研究	未定		
	特別支援教育コース	特別支援教育特論A	山崎由可里	
		特別支援教育特論B	山崎由可里	
		障害児教育学特別演習	山崎由可里	
		特別支援教育心理学特論	武田鉄郎	
		特別支援教育センターコーディネーター特論A	武田鉄郎	
		障害児心理学特別演習	武田鉄郎	
		特別支援教育臨床学特論	江田裕介	
		特別支援教育センターコーディネーター特論B	江田裕介	
		障害児臨床学特別演習	江田裕介	
		特別支援教育自立支援特論	古井克憲	
		特別支援教育センターコーディネーター特論C	古井克憲	
		特別支援教育福祉学特別演習	古井克憲	
		特別支援教育臨床研究プロジェクト	武田鉄郎・江田裕介・山崎由可里・古井克憲	
		特別支援地域連携研究	武田鉄郎・江田裕介・山崎由可里・古井克憲	
		特別支援学校実践研究	山崎由可里・武田鉄郎・江田裕介・古井克憲	
		障害児行動学特論	未定	
障害児社会関係特論		未定		
特別支援教育医学特論	未定			
障害児医学特別演習	未定			
教育臨床病理学特論	未定			
教育臨床病理学特別研究	未定			
学習障害児指導法特論	江田裕介			
教科教育コース	国語学特論	澤村美幸		
	国語学特別演習	澤村美幸		
	日本文学特論A	大橋直義		
	日本文学特別演習A	大橋直義		
	日本文学特論B	佐藤和正		
	日本文学特別演習B	佐藤和正		
	日本語教育特論A	長友文子		
	日本語教育特論B	長友文子		
	日本史特論	海津一郎		
	日本史特別演習	海津一郎		
	世界史特論A	三品英憲		
	世界史特別演習A	三品英憲		
	世界史特論B	小原淳		
世界史特別演習B	小原淳			

科目区分	授業科目	担当教員（予定）	備考
専門に関する科目	人文地理学特論 A	山神達也	
	人文地理学特別演習 A	山神達也	
	社会科特論（小）	島津俊之	
	人文地理学特論 B	島津俊之	
	人文地理学特別演習 B	島津俊之	
	政治学特論	内田みどり	
	政治学特別演習	内田みどり	
	社会学特論	西倉実季	
	社会学特別演習	西倉実季	
	哲学特論	小関彩子	
	哲学特別演習	小関彩子	
	代数学特論 A	北山秀隆	
	代数学特別演習 A	北山秀隆	
	代数学特論 B	田川裕之	
	代数学特別演習 B	田川裕之	
	幾何学特論	川上智博	
	幾何学特別演習	川上智博	
	解析学特論	片山聡一郎	
	解析学特別演習	片山聡一郎	
	応用解析学特論	西山尚志	
	応用解析学特別演習	西山尚志	
	電磁気学特論	木曾田賢治	
	電磁気学特別演習	木曾田賢治	
	量子力学特論	顧萍	
	量子力学特別演習	顧萍	
	有機化学特論	山口真範	
	有機化学特別演習	山口真範	
	有機化学特別実験	山口真範	
	無機化学特論 A	木村憲喜	
	無機化学特別演習 A	木村憲喜	
	無機化学特別実験	木村憲喜	
	無機化学特論 B	神田和香子	
	動物生態学特論	古賀庸憲	
	動物生態学特別演習	古賀庸憲	
	動物生理学特論	梶村麻紀子	
	動物生理学特別演習	梶村麻紀子	
	天文学特論（小）	富田晃彦	
	天文学特論	富田晃彦	
	古環境学特論	此松昌彦	
	古環境学特別演習	此松昌彦	
	堆積学特論	久富邦彦	
	堆積学特別演習	久富邦彦	
	電子工学特論	井嶋博	
電子工学特別演習	井嶋博		
器楽特論	山名仁		
器楽特別演習	山名仁		
管楽器特論	小寺香奈		
管楽器特別演習	小寺香奈		
声楽特論	大元和憲		
声楽特別演習	大元和憲		
作曲法特論	未定		
音楽学特論	未定		
絵画特別研究	高木栄一		
絵画特別演習	高木栄一		
造形特別演習 A（幼小）	永沼理善		
彫刻特別演習	永沼理善		
デザイン特別研究	山崎直秀		

科目 区分	授業科目	担当教員（予定）	備 考
専門に関する科目 教科教育コース	デザイン特別演習	山崎直秀	
	造形特別演習B（幼小）	寺川剛央	
	工芸特別演習	寺川剛央	
	美術理論・美術史特論	高橋健一	
	美術理論・美術史特別演習	高橋健一	
	体育学特論A	彦次佳	
	体育学特別演習A	彦次佳	
	体育学特論B	片渕美穂子	
	体育学特別演習B	片渕美穂子	
	体育学特論C（幼小）	池田拓人	
	体育学特別演習C	池田拓人	
	運動学特論A	加藤弘	
	運動学特別演習A	加藤弘	
	運動学特論B	矢野勝	
	運動学特別演習B	矢野勝	
	健康科学特論	本山貢	
	健康科学特別演習（幼小）	本山貢	
	食物学特論	山本奈美	
	家庭科特論（小）	今村律子	
	被服学特論	今村律子	
	被服学特別演習	今村律子	
	住居学特論	村田順子	
	住居学特別演習	村田順子	
	保育学特論	未定	
	家族関係学特論	本村めぐみ	
	家族関係学特別演習	本村めぐみ	
	英語学特論A	松山哲也	
	英語学特別演習A	松山哲也	
	英語学特論B	西山淳子	
	英語学特別演習B	西山淳子	
	英米文学特論A	今村隆男	
	英米文学特別演習A	今村隆男	
	英米文学特論B	坂本正雄	
英米文学特別演習B	坂本正雄		
小学校英語教育特論	尾上利美		
ヨーロッパ文学特論A	永井邦彦		
ヨーロッパ文学特論B	小栗栖等		
ヨーロッパ文学特論C	千田まや		
ヨーロッパ文学特論D	兵頭俊樹		
課題研究	課題研究		

学生生活の案内

1 入学科免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額または半額を免除する制度があります。

- ① 入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者（学資負担者）が死亡した場合
- ② 入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③ 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

2 入学科徴収猶予の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、平成28年7月末日（7月末日が日曜日にあたる時は前々日まで、土曜日にあたる時は前日まで）を限度として入学料の納付を猶予する制度があります。

- ① 入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者（学資負担者）が死亡した場合
- ② 入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③ 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

3 授業料免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

- ① 入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者（学資負担者）が死亡した場合
- ② 入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③ 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

4 奨学金

(1) 日本学生支援機構の奨学金

(申込資格)

学業・人物ともに優秀で経済的理由により修業が困難である者。

(奨学生の決定)

本学が人物・健康・学力・家計の申込基準を満たしている奨学金申込者の中から選考の上、日本学生支援機構に推薦します。同機構では審査の上、採用を決定します。基準を満たしていても、予算の関係で採用されない場合があります。

(奨学金の種類)

第一種奨学金（無利子）

貸与月額50,000円、88,000円から選択

第二種奨学金（有利子）

貸与月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

(注) 貸与月額については、平成27年度実績であり変更されることがあります。

(2) 地方公共団体等の奨学金

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体や各種団体等が扱っている育英奨学金制度があります。これらの募集は、ほとんどが4～5月に集中しており、学生センターの掲示板に随時掲載しています。この他に、大学に直接募集のないものもありますので、各団体や出身の都道府県に各自問い合わせてください。

(3) 本学独自の奨学金

本学では、学資負担者の家計急変（失職、破産、倒産、病気、死亡もしくは地震・風水害の被害等）により、修学を継続することが経済的に困難となった学生の学費・生活費を援助することを目的とした家計急変奨学金制度があります。

貸与額：無利子貸与とし、一時金10万円、20万円、30万円より申請者が選択する。

返還期間：貸与された翌月から卒業後3年以内。

5 学生傷害保険等

(1) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）【本学負担で全員加入】

学研災は、学生が正課中、学校行事中、通学中、教育研究のために大学施設内にいる間及び課外活動中等に不慮の事故にあい、傷害を受けたり、あるいはそれらが原因で後遺障害を負ったり、死亡した場合に、当該学生やその家族に保険金が支払われる全国的規模の補償制度です。

(2) 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）【任意加入】

学研賠は、日本国内において、学生が正課中、学校行事中、課外活動中（インターンシップ、介護体験、教育実習、保育実習、ボランティア活動）及びその往復等で、他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより生ずる法律上の損害賠償を補償する制度です。

(3) 学研災付帯学生生活総合保険（学総）【任意加入】

学総は、学研災及び学研賠では補償が不足すると思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学研災や学研賠では補償されない病気や日常生活でのケガ等についても補償されます。この保険に加入すれば、賠償責任を負った場合の補償を含んでいるため、学研賠に加入する必要はありません。

6 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合で行っています。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000円です。